

平成25年4月16日

J R 北 海 道

4月8日発生 特急北斗20号の エンジンが破損した事象について

平成25年4月8日(月)20時49分頃、函館線 八雲駅構内で発生した、札幌18時13分発 函館行き 特急北斗20号の車両故障について、その後判明した事柄については以下のとおりです。

1. 調査結果

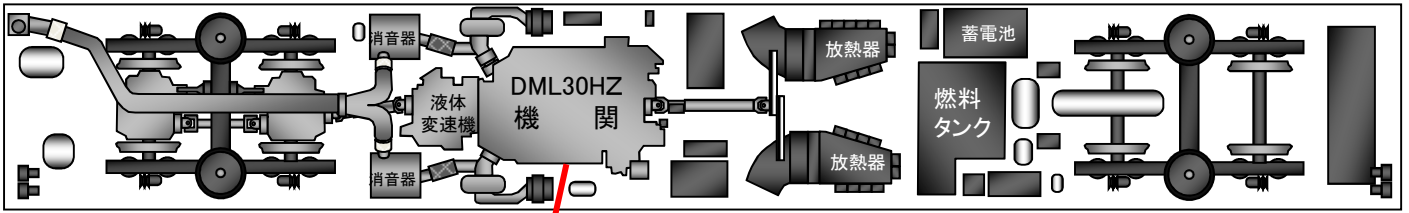
当該エンジンを解体調査した結果、燃料噴射ポンプ(エンジンに噴射する燃料の量を制御し、回転数を調整する装置)内の部品(スライジングブロック)が折損していました。

2. 推定原因

以上の調査結果から、燃料噴射ポンプ内のスライジングブロックが折損したことにより、燃料が多く噴射され続けた結果、エンジンが常に過回転状態となり、その結果エンジンの連接棒が破損し、シリンダブロックが破損したものと推定しています。

なお、燃料噴射ポンプ内のスライジングブロックが折損した原因については、引き続き調査を行ってまいります。

キハ182-2560号噴射ポンプ内スライジングブロック折損



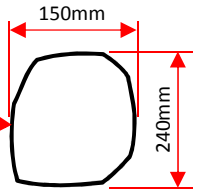
【機関破損状況】



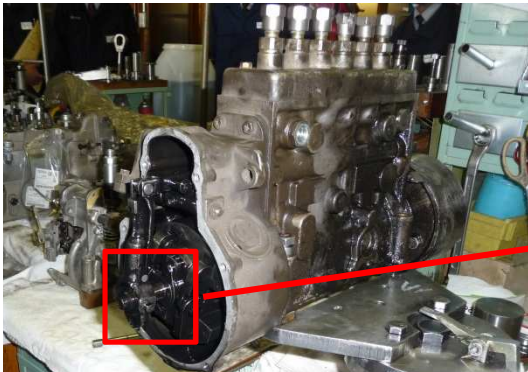
DML30HZ型機関



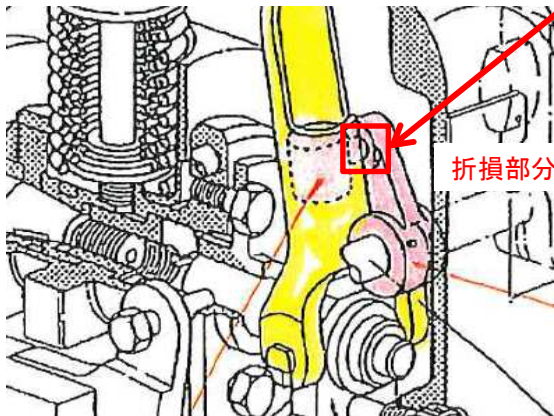
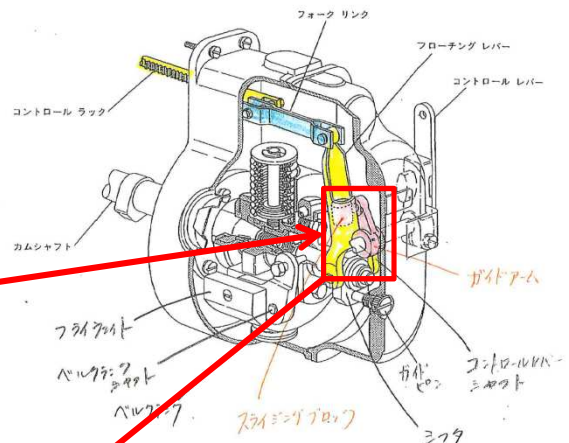
ブロック破損



【機関破損原因】



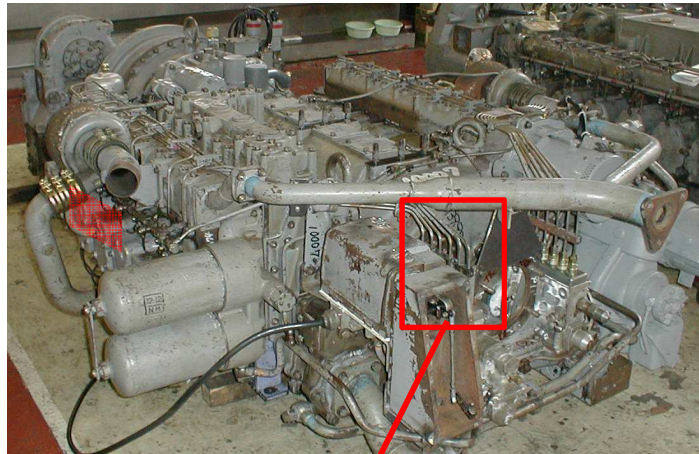
燃料噴射ポンプ



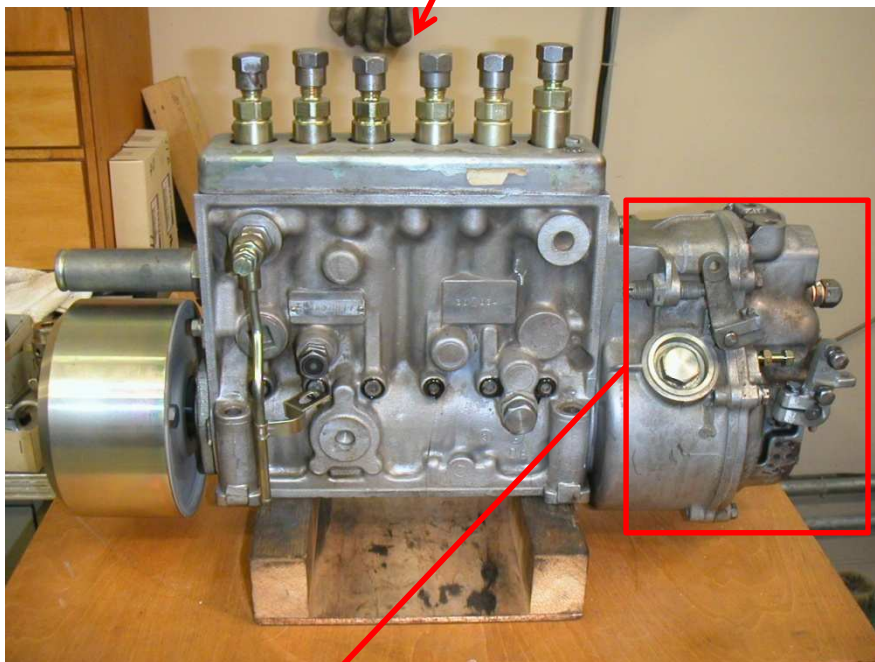
スライジングブロック



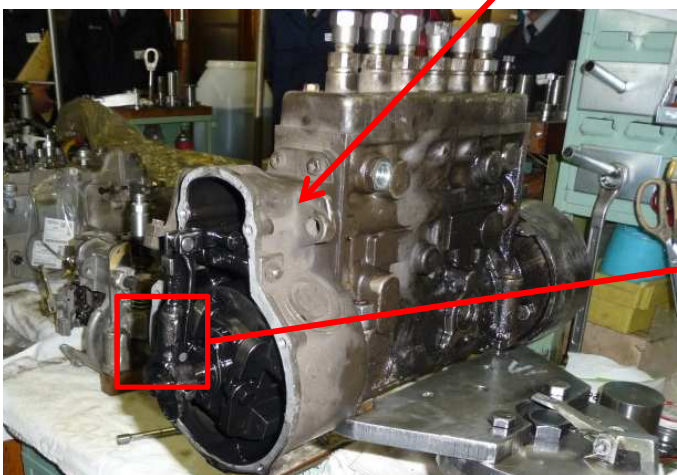
スライジングブロック折損



DML30HZ型機関外観



燃料噴射ポンプ外観



燃料噴射ポンプ内部



折損部分

スライジングブロック折損